

## 1 本年度の研究テーマについて

### 豊かに学び、共に高めあう生徒の育成 ～「考えさせる授業」の創造～

「生きる力」とは、変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身につけさせたい「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」の3つの要素からなる力であり、中でも「確かな学力」（＝知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの）を、校内研究の機会を通して、生徒一人一人に身につけさせていくことを目指したい。そのためには、教科の指導力を全職員で高めていくことはもちろん、土台となるべき学級集団の育成にも力を入れていきたい。さらに、本校生徒の課題の一つでもある家庭学習にも目を向ける（基礎・基本の定着を目指して）。生徒一人一人の心の安定、それぞれの学級でのよりよい所属感を高めていくことで土台を固め、そのうえで「考えさせる授業」の充実と家庭学習の定着（ゆくゆくは充実を目指したい）とがスパイラル状に相互に補完しあっているような研究を目指したい。

## 2 研究内容・研究方法について

グループ研究、学級集団づくり、家庭学習を中心に行い、基本的には昨年度までの研究内容を継続する。

（グループ研究）

- ・「考えさせる授業」を意識した授業に取り組み、一人一実践を行う。
- ・大きなテーマに沿ったグループを作り、教科の枠を超えた意見交換を行う。2学期に各グループで研究授業を行う。

（集団づくり）

- ・生徒一人一人を理解するための標準検査（Hyper Q-U）の実施・活用。
- ・構成的グループ・エンカウンター概念を特活・道徳・短学活・各教科の授業の中に採り入れ、生徒対生徒、生徒対教師のより良い人間関係を作っていく。

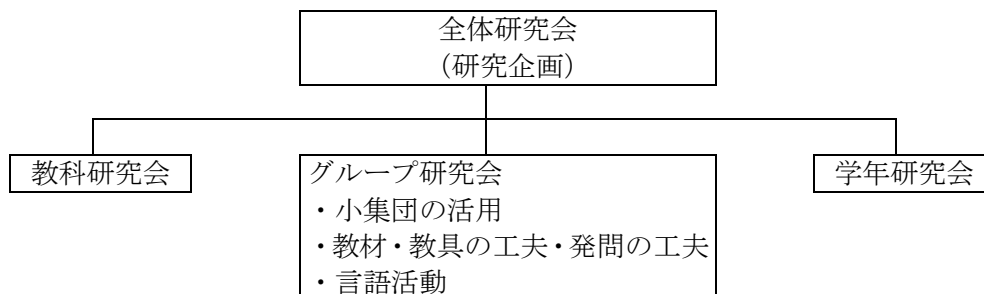
（家庭学習）

- ・生徒の実態を確認、指導に生かすため、家庭学習力アンケートの実施。
- ・家庭学習の手引きを配布するとともに、実践できるような支援。

## 3 研究目標

生徒一人一人を多方面から理解し、相互の人間関係の啓発・醸成を図ることで土台を固め、そのうえで各教科や特活・道徳の授業において、考えさせる授業の創造を目指す。そして、日々の教科の授業と家庭学習とを有機的にリンクさせることで、豊かに学び、共に高めあう生徒を全職員の力を結集して育成していく。

## 4 研究組織



## 5 研究計画

- 第1回 4月28日(金)
  - 〔全体研〕・研究テーマ・内容・方法・年間計画等について
  - ・研究グループについて
  - 〔教科研〕・各教科研究の進め方の検討。
- 第2回 5月24日(水)
  - 〔全体研〕・「考えさせる授業」の学習会(講師招聘または研究授業)
  - ・家庭学習力アンケート実施の確認(実施5/25~31)
- 第3回 6月28日(水)
  - 〔全体研〕・Q-U、構成的グループ・エンカウンターの学習会 講師: 斉木先生
  - ・Q-U実施の確認(実施6/29~7/7)
- 第4回 7月31日(月)(午前)
  - 〔グループ研〕・「考えさせる授業」実現のための具体的な取り組みについて
  - 〔学年研〕・Q-U分析
- 第5回 8月21日(月)(終日)
  - 〔全体研〕・教育課程研究協議会還流報告
  - ・新学習指導要領の学習会
  - 〔教科研〕・教育課程研究協議会還流報告
  - ・「考えさせる授業」実現のための具体的な取り組みについて
  - 〔グループ研〕・一人一実践指導案検討(研究授業者の決定)
- 第6回 9月22日(金)
  - 〔全体研〕・研究授業について
  - 〔グループ研〕・研究授業指導案の検討
- 第7回 10月18日(水)
  - 〔全体研〕・研究授業および研究会(指導主事招聘)
- 第8回 11月22日(水)
  - 〔全体研〕・研究授業および研究会(指導主事招聘)
- 第9回 12月8日(金) 職員会議の中で
  - 〔全体研〕・Q-U実施(実施12/11~15)
  - ・家庭学習力アンケート実施の確認(実施12/11~15)
  - ・研究紀要についての確認
  - 〔グループ研〕・研究のまとめ
- 第10回 1月15日(月) 職員会議の中で
  - ・研究紀要について
- 第11回 2月16日(金) 職員会議の中で
  - ・本年度のまとめと来年度の方向性について
- 第12回 3月16日(金) 職員会議の中で
  - ・来年度の方向性について確認

\*その他、グループ、学年研究会、教科研究会を適宜設定予定。道徳については研修還流報告を中心に、適宜学習会を行う。

研究主題 豊かに学び共に高めあう生徒の育成  
～「考えさせる授業」の創造～

城南中学校 「考えさせる授業」を目指す4本の柱

学力の向上

個への支援

取り出し学習  
T/T  
朝・放課後の補習

Q-Uの活用

年2回実施  
人間関係づくり

授業  
の振り返り

家庭学習の習慣化

各教科の課題の工夫  
自主的な学習(自主学習ノート)  
基礎・基本の学習

漢字・計算ドリルの課題

課題

点検の活動をどのようにしていくか

考えさせる 授業  
→ わかる 授業

研究グループ ①

発問の工夫

【思考プロセス】

生徒の思考をどのように深めていくか

- シンキングプロセスのパターン化
- スモールステップによる思考深化の順序化

課題

パターン化の提示

言語活動

【思考ツール】

生徒の思考を深めるために有効な方法は何か

- 言語活動ハンドブックの活用
- 有効な思考ツールの開発と提示

授業  
改善の視点

課題

有効なツールの提示

研究グループ ③

小集団の活動

- 実技の向上
- 思考の深まり
- 教えあい 学びあい

課題

生活班から学習班への転換 学習リーダーの育成

支え

教材・教具の工夫

- 効果的な教材の開発
- ホワイトボードの活用
- ICT・視聴覚機器の活用

課題

教材・教具の確認と使用法一覧づくり

研究グループ ④